

第1章 授業科目のしくみ

1. 教育課程の科目区分

本学の教育課程は、教養教育科目、専門教育科目、コース選択科目及び自由科目に科目区分しています。

〔教養教育科目〕

教養教育科目は、歴史的に蓄積された思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の習得、真摯な学習と実践を通じ、思いやりの心と豊かな感性を持つ自立的な個人の確立を目指すために設けられた科目です。各自が、履修したい科目を登録し、履修できます。

〔専門教育科目〕

専門教育科目は、学科の教育上の目的を達成するために必要なものとして、学科に係る専門の学芸を教授し、職業又は实际生活に必要な能力を育成するために設けられている科目です。幼稚園教諭、保育士の免許等の必修、選択必修、選択といった科目分類を見極めた上で、自分が履修する科目を選び、履修登録を行ってください。

〔コース選択科目〕

「子ども医療」「子ども体育」「子ども音楽」「子ども心理」の4つの履修コースでは、専門領域の知識を深めるとともに、通常の授業で包括し得なかった分野を学べるような科目が用意されています。

〔自由科目〕

自由科目は、自己の専門領域にとらわれず、幅広い知識、教養を学び取ることに重点を置いており、ほかの専門分野の講座や、実務・実践的な講座などが自由に聴講できるようになっています。

2. 授業科目の分類

本学の授業科目は、必修科目、選択科目に分類されています。

必修科目	【必ず修得しなければならない科目】 この科目の単位が未修得の場合は、単に卒業要件単位数を修得していても、卒業することができません。
選択科目	【特定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目】

3. 開講形式

各授業科目は、次の2つのうち、いずれかの開講形式をとっています。

学期完結	前期もしくは後期の半年間で授業が完結されます。 成績評価及び単位認定は、各学期で行われます。
通年	前期・後期を継続して授業が行われます。 基本的に、前期終了時での成績評価は行われず、前期・後期の成績を総合評価して単位認定されます。ただし、暫定点（中間点）が公表される場合もあります。 教育実習指導等、2年にわたって行われる科目もあります。

4. 開講及び授業形態

通常、一つの講義は、週1回90分1時限で行われます。

また、授業を効果的に行うため、科目によっては次のように開講されるものがあります。

複数開講科目	1週間に同じ講義内容を複数回繰り返して行われる科目をいいます。 毎年、履修者数が多い科目を、多くの学生が履修できるように、週に数回開講しています。
連続講義科目	授業の効果をあげるため、同一曜日に連続した時限（〔例〕月3・4時限連続）で行われる場合と、異なる曜日（〔例〕月3・金2）で行われる場合があります。 該当する時限をすべて履修しなければなりません。
集中講義科目	授業の効果をあげるため、一定期間に集中して行われる科目をいいます。
オムニバス科目	一つの講義を担当者が複数名で引き続いて行う科目をいいます。

5. 授業の種別

授業には、講義、演習、実験、実習及び実技の種別があります。

授業科目は種別によって同時に受講できる人数が、授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮し、履修人員を制限することがあります。